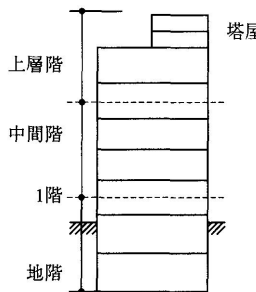


F-44	横引き配管の耐震支持	単位 mm
------	------------	-------

施工方法

	設置場所	設置間隔	支持材の種類	適用除外	適用階の区分
耐震クラスA・B対応	上層階 屋上 塔屋	配管の標準支持間隔の3倍以内。ただし、銅管の場合は4倍以内に1箇所設ける	すべてA種	①50A以下の配管。 ただし、銅管は20A以下の配管 ②吊り材長さが30cm以下の配管	
	中間階		50m以内に1箇所は、A種とし、その他はB種にて可		
	地階 1階		すべてB種でも可		

上層階の定義

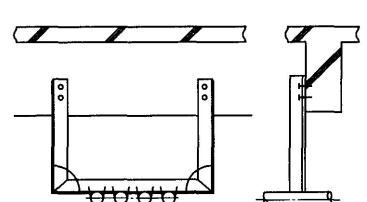
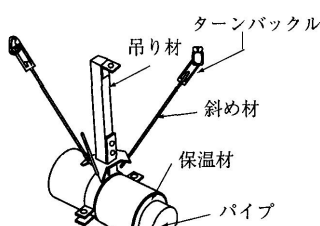
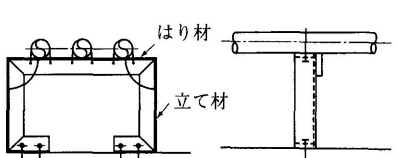
- ・2～6階建ての建築物では、最上階を上層階とする。
- ・7～9階建ての建築物では、上層の2層を上層階とする。
- ・10～12階建ての建築物では、上層の3層を上層階とする。
- ・13階建て以上の建築物では、上層の4層を上層階とする。

中間階の定義

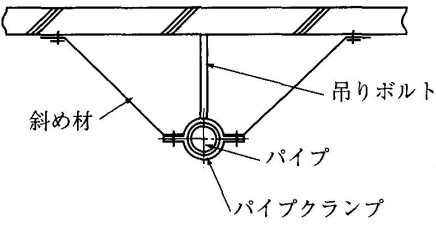
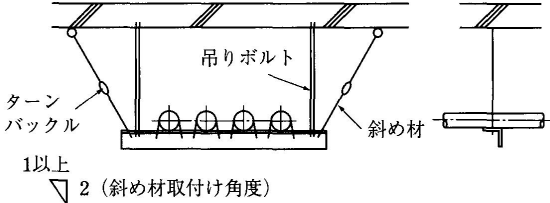
- ・地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階を中間階とする。

注）耐震クラスには、S、AおよびBがあり、耐震クラスSの場合は、支持材の種類をA種からSA種に変え、中間階のB種をA種に変える。各支持材の部材については、（財）日本建築センター発行『建築設備耐震設計・施工（1997年版）』を参照。

SAおよびA種耐震支持方法の例

天井スラブ等より吊り下げる方法	天井スラブ等より吊り下げる方法	床スラブより支持する方法
 はり（またはスラブ）に吊り下げる場合（ラーメン架構）	 はり（またはスラブ）に吊り下げる場合	 ラーメン架構

B種耐震支持方法の例

はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (1)	はりや天井スラブ等より 吊り下げる方法 (2)
 斜め材 吊りボルト パイプ パイプクランプ	 吊りボルト 斜め材 ターンバックル 1以上 ▽ 2 (斜め材取付け角度)